

子どもの様子 7月 つき組

【ねらい】

- 戸外や室内で伸び伸びと体を動かす心地よさを味わったり、夏ならではの遊びを楽しんだりする
- 遊びのルールを守り、友達と関わって遊ぶ楽しさを知る
- 生活の流れを知り、身の回りのことに取り組む

～夏ならではの遊び①氷遊び～ 【工夫】

- 「氷、どうやって溶かそうかな～」

暑くて外に出られない日は、室内でも夏ならではの遊びに触れられるよう、氷遊びや色水遊びをして遊んでいます。食紅で色付けした氷を用意すると、遊んでいくうちに、「あれ？氷が溶けてきた」「氷、どうやって溶かそうかな」と、思うようになりました。そこで用意していたプラカップを重ね、シェイカーのように上下に振り、工夫する姿が見られました。

私は、氷を手で握りしめて溶かしてみる！



～製作遊び～ 【豊かな感性と表現】

- 作ったもので遊ぶ

ザリガニ釣りに行った友達の話から、魚釣りごっこをして遊びました。自分たちで自由に魚に模様を描き、作ったもので遊ぶ楽しさを味わっています。また、東北の三大祭でもある秋田の竿灯！これも手作り！子ども竿灯の竿の大きさを比べる子どもの姿も見られました。



～夏ならではの遊び②色水遊び～

- 「こんな色になったよ！」【発見】
- ジュース屋さんごっこ 【友達とのやり取り】

絵の具を水に溶かし、色水遊び。色の名前も分かるようになってきて、様々な色の色水を用意してみました。様々な色を混ぜて、「こんな色になったよ」と、教えてくれました。友達とジュース屋さんを真似てやり取りをして遊ぶ姿も見られました。

新しい色を発明中。

ジュース屋さん

お友達が作った色と、色の違いを発見！

暑い日が続き、本格的な夏が到来しました。水遊びや氷遊び、色水遊びなど、夏ならではの遊びをして過ごしています。汗をかいたら着替えたり、自分から水分補給をしたりと、夏の過ごし方も身に付いてきています。また、コーナー遊びを設定することで、4～5人のグループで遊ぶ姿が見られるようになりました。友達に「一緒に遊ぼう」「仲間に入れて」と声をかけたり、トラブルがあると自分から「ごめんね」と言ったり、このトラブルを経験しながら友達の思いや我慢することなど、様々なことを学んでいるつき組です。

～身の回りのことや遊んだ後の片付け～

- 自分の洋服をたたむ 【自立心】
- 遊んだ後のお片付け 【明日の活動への意欲】

朝の準備が終わったら、自分の水遊び用の衣服をたたんでいます。また、色水で遊んだ後は、水できれいに洗って片付け、物を大事にすることや“また遊びたい”という気持ちにつながるようしています。